

## 市野川周辺の冬鳥、水鳥のバードウォッチング

環境アドバイザー

渡辺 仁（比企の川づくり協議会）

**対象** 東松山市立新宿小学校 5 年生 71 名 **所要時間** AM：9 時～11 時 30 分  
教諭 3 名

**場所** 小学校～市野川右岸河川敷・堤防 **実施時期** 令和 3 年 12 月 9 日（木）  
～市浄化センター～小学校東門

## 概要

東松山市立新宿小学校は、昭和 50 年代に蛇行河川の整備と、水田・沼沢地を都市計画によって商業・宅地化した周辺に設立した小学校です。近隣には、環境管理事務所・県土整備事務所など埼玉県行政機関、市民文化会館などが隣接する行政区域にもなっています。R 元年より、市教育委員会による「学校特色化支援事業」指定も加わったことで、児童達が野生生物とのふれあいを通じて、環境学習や保全を体験することを目的として、野鳥観察（ウォッチング）を実施した。

プログラムの  
ねらい

1. 冬期、河川・水際・空中に生育する野鳥などを、児童達と一緒に確認した。
2. ダイサギ、アオサギ、カワウ、カワセミなど 14 種類の野鳥を確認出来た。
3. 土砂掘削・樹木伐採の騒音で、ガン・カモ類（冬期）は確認出来ず残念。

## プログラムの内容

1. 校庭集合後、開催挨拶と 1 組・2 組のコース説明
2. 城南新宿橋（県道）の通過コースの案内
3. 市野川諏訪堰の移設工事を迂回案内（以上、合計 2.5 時間）



校庭出発前に児童達へ出発の挨拶、



橋付近のアオサギ、ダイサギの観察



ウォッチング終了後、校庭にて「まとめ」

## 受講者の反応：（先生方へのヒアリングも含む）

- ・雨上がりの観察ルートになったために、ぬかるみ回避から遠回りをさせてしまい、残念至極。
- ・河川内の諏訪堰移設工事、河畔林伐採の騒音等で、ガン・カモ等水鳥は早朝から観察不能。
- ・一昨年の 19 号台風からの防災工事とは言え、河川工事箇所を早めに掌握すべきであった（反省）。

## 市野川周辺の冬鳥、水鳥のバードウォッチング

環境アドバイザー

金子 恒雄（東松山自然倶楽部）

対象 東松山市立新宿小学校 5年2組 36名 所要時間 AM:9時～11時30分  
教諭 2名

場所 小学校～市野川右岸河川敷・堤防 実施時期 令和3年12月9日(木)  
～市浄化センター～小学校東門

## 概要

東松山市立新宿小学校は、昭和50年代に蛇行河川の整備と、水田・沼沢地を都市計画によって商業・宅地化した周辺に設立した小学校です。近隣には、環境管理事務所・県土整備事務所など埼玉県行政機関、市民文化会館などが隣接する行政区域にもなっています。R元年より、市教育委員会による「学校特色化支援事業」指定も加わったことで、児童達が野生生物とのふれあいを通じて、環境学習や保全を体験することを目的として、野鳥観察（ウォッチング）を実施した。

プログラムの  
ねらい

1. 冬期、河川・水際・空中に生育する野鳥などを、児童達と一緒に確認した。
2. ダイサギ、アオサギ、カワウ、カワセミなど14種類の野鳥を確認出来た。
3. 土砂掘削・樹木伐採の騒音などで、ガン・カモ類（冬期）は確認出来ず。

## プログラムの内容

1. 市野川水域、堤防内植生、飛翔中の野鳥の紹介
2. 河川敷に降りて、落ちている羽根からの種類判定など
3. 野鳥以外の哺乳類の痕跡、足跡などの解説（以上、2.5時間）



堤防上からの鳥類ウォッチング



金子アドバイザーを先頭に河川敷観察



権田主幹教諭も堤防上で引率

## 受講者の反応：（先生方へのヒアリングも含む）

- ・河川敷ルートでは、タカに襲われたダイサギの羽根が落ちている箇所の説明もあり、興味津々。
- ・アライグマの足跡（痕跡）について説明があり、鳥類・哺乳類が生息していることが分かった。
- ・浄化センター南（柏崎緑地）からの湧き水にも、小鳥たちが飛来することを説明してもらった。

## 市野川周辺の冬鳥、水鳥のバードウォッチング

環境アドバイザー

池田 洋子（東松山自然倶楽部）

**対象** 東松山市立新宿小学校 5年1組 35名 **所要時間** AM:9時～11時30分  
 教諭 2名

**場所** 小学校～市野川右岸河川敷・堤防  
 ～市浄化センター～小学校東門 **実施時期** 令和3年12月9日(木)

## 概要

東松山市立新宿小学校は、昭和50年代に蛇行河川の整備と、水田・沼沢地を都市計画によって商業・宅地化した周辺に設立した小学校です。近隣には、環境管理事務所・県土整備事務所など埼玉県行政機関、市民文化会館などが隣接する行政区域にもなっています。R元年より、市教育委員会による「学校特色化支援事業」指定も加わったことで、児童達が野生生物とのふれあいを通じて、環境学習や保全を体験することを目的として、野鳥観察（ウォッチング）を実施した。

プログラムの  
ねらい

1. 冬期、河川・水際・空中に生育する野鳥などを、児童達と一緒に確認する。
2. ダイサギ、アオサギ、カワウ、カワセミなど14種類の野鳥を確認出来た。
3. 土砂掘削・樹木伐採の騒音などで、ガン・カモ類（冬期）は確認出来ず。

## プログラムの内容

1. 校庭に設置したバードフィーダーの餌やり、観察方法
2. 1組35人の引率と堤防上での野鳥観察と説明
3. 14種類の野鳥観察を実施することが出来た（以上、2.5時間）



1組の引率に当たったの注意事項



校内のバードフィーダーの講義



池田さん（左端）を先頭に堤防上から観察

## 受講者の反応：（先生方へのヒアリングも含む）

- ・エサ箱（フィーダー）では、校舎の廊下から観察出来るように、エサの増減を観察すること。
- ・飼育委員会や先生方がチェックしているので、みんなで観察を続けるようにして欲しい。
- ・河川での鳥類観察では、レクチャーで教えて頂いたように、頭から魚を丸呑みしていました。
- ・鳥類以外では、河川内でミシシッピーアカミミガメなども、観察された。